

A-1 (1536-1548) 戦没者遺骨の収集業務の現状と将来 –日本人類学会の取り組み–○篠田 謙一¹、皆川 宏²¹科博・人類研究部、²厚労省・社会援護局**A-2 (1548-1600) 戦没者遺骨収集事業の概要と遺骨鑑定専門員の役割**○巻島 美幸¹、坂上 和弘²¹厚労省社会援護局、²科博・人類研究部**A-3 (1600-1612) 旧ソ連地域、パプアニューギニア・ブーゲンビル島、およびミャンマーにおける遺骨収集の現場と鑑定の実際**○大谷 江里¹、久保 大輔²、巻島 美幸¹¹厚労省・社援、²北海道大・院医**A-4 (1612-1624) 日本人大学生における初経年齢と月経周期の関連**○小西 祥子^{1,2}、吉永 淳³、西浜 柚季子⁴、水野 佑紀¹、今井 秀樹⁵¹東京大学院・医、²ワシントン大・人類、³東洋大・生命科学、⁴国立環境研、⁵東京医療保健大・看護**A-5 (1624-1636) ホモルーデンスの進化とヒトの自己家畜化仮説**○島田 将喜¹¹帝京科学大学生命環境学部アニマルサイエンス学科**A-6 (1636-1648) The Theory of Knowledge Progress in the Quaternary Period: The New Combinations of Anthropology, Archaeology and Economics**○SUENAGA, K.¹¹School of Political Science and Economics, Meiji Univ.**A-7 (1648-1700) 構成能力の進化条件**○中橋 渉¹¹早大・社会学**A-8 (1700-1712) L-Mオプシン遺伝子に対する遺伝子変換と純化選択から見るヒト色覚多様性の普遍性と起源**○松下 裕香¹、Amanda D. Melin^{2,3}、河村 正二¹¹東大・院新領域、²Dept. Anthropol. & Archaeology, Univ. Calgary、³Cumming Sch. Med., Univ. Calgary**A-9 (1712-1724) デングショック症候群に関連するヒト遺伝子多型の探索**○Hasegawa Y¹, Naka I¹, Nishida N², Areerat Sa-Ngasang^{3,4}, Surapee Anantapreecha⁴, Pathom Sawanpanyalert⁵, Jintana Patarapotikul³, and Ohashi J¹¹Laboratory of Human Genome Diversity, Department of Biological Sciences, Graduate School of Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan., ²The Research Center for Hepatitis and Immunology, National Center for Global Health and Medicine, Ichikawa, Chiba, Japan., ³Department of Microbiology and Immunology, Faculty of Tropical Medicine, Mahidol University, Bangkok, Thailand., ⁴National Institute of Health, Department of Medical Sciences, Ministry of Public Health, Nonthaburi, Thailand., ⁵Food and Drug Administration, Ministry of Public Health, Nonthaburi, Thailand.**A-10 (1724-1736) 成長期縄文人の脛骨断面形状について**○水嶋 崇一郎¹、平田 和明¹¹聖マリアンナ医大・解剖

A-11 (0900-0912) **土坑の用途推定法 (リンの分布と、炭素・窒素比)**○渡辺 正巳^{1,2}、瀬戸 浩二²¹文化財調査コンサルタント株式会社、²島根大学エスチュアリー研究センター**A-12** (0912-0924) **日本人頭骨を対象にした中硬膜動脈前部とCOFの連絡に関する予備的研究**○久保 大輔¹、海部 陽介²¹北海道大・院医、²科博・人類研究部**A-13** (0924-0936) **成人後の頭部寸法の変化**○河内 まき子¹¹産総研**A-14** (0936-0948) **幾何学的形態測定学を用いた三次元顔面形態の解析と遺伝率推定**○木村 亮介¹、宮平 由香子¹、金城 優奈¹、伊佐 睦実¹、小金淵 佳江¹、石田 肇¹、安藤 寿康²、中川 草³、今西 規³¹琉球大・院医、²慶応義塾大・文、³東海大学・医**A-15** (0948-1000) **モンゴル帝国期以前における東モンゴル遺跡出土人骨のゲノム解析**○佐藤 丈寛¹、覚張 隆史²、田嶋 敦¹、アマガラントグス・ツェンド³、ツォグトバートル・バトムンフ³、三宅 俊彦⁴、白石 典之⁵¹金沢大・医、²金沢大・新学術、³モンゴル科学アカデミー・歴史考古、⁴淑徳大・人文、⁵新潟大・文**A-16** (1000-1012) **北東アジア先住民族ニブフのゲノム網羅的SNPアレイ解析及びY-STRジェノタイプピングに基づく集団史解析**○松前 ひろみ¹、佐藤 丈寛²、小金淵 佳江³、長谷 武志⁴、西田 奈央⁵、落合 恵理子⁶、大澤 資樹⁶、田辺 秀之⁷、木村 亮介⁸、今西 規¹、田嶋 敦²、清水 健太郎^{9,10}、太田 博樹¹¹¹東海大・医・分子生命科学、²金沢大・医、³北里大・院・医療系、⁴東京医歯大・医療データ科学、⁵国立国際医療研究セ、⁶東海大・医・法医、⁷総研大・先端科学、⁸琉球大・医、⁹チューリヒ大・進化環境、¹⁰横浜市大・木原研、¹¹東京大・院理**A-17** (1012-1024) **燻シミイラ仮説：中国南部の先史採集狩猟民の遺跡に頻出する屈葬分離遺体の解釈**○松村 博文¹¹札幌医大・保健医療**A-18** (1024-1036) **長江下流域における新石器時代集団の四肢骨形態**○高椋 浩史¹、岡崎 健治²、米元 史織³、川久保 善智⁴、大野 憲五⁴、富田 啓貴⁵¹土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、²鳥取大学医学部、³九州大学総合研究博物館、⁴佐賀大学医学部、⁵九州大学地球社会統合科学府**A-19** (1036-1048) **復顔を視野に入れた顔貌と表情筋・脂肪組織との関連**○高見 寿子¹、佐藤 昇¹、大島 勇人²¹新潟大学大学院医歯学総合研究科肉眼解剖学分野、²新潟大学院医歯学総合研究科硬組織形態学分野**A-20** (1048-1100) **上海市広富林遺跡出土人骨の復顔**○川久保 善智¹、岡崎 健治²、陳 傑³¹佐賀大・医、²鳥取大・医、³上海博

A-21 (1412-1424) 野生アヌビスヒヒの体温から検討する無毛化の機能○松本 晶子¹、Carter Loft²、上沖 正欣³¹琉球大・国創、²UC Davis・Dept. Anthropol、³琉球大・観光**A-22 (1424-1436) ウガンダ、カリンズ森林に生息するロエストモンキーのキノコ食 (予報)**○五百部 裕¹¹椋山女学園大学・人間関係学部**A-23 (1436-1448) Physical Age change in Japanese Macaque (*Macaca fuscata*): Growth, Development, Maturation and Aging I Dental eruption**○YUZURU HAMADA¹, TSUYOSHI WATANABE², MITSUO IWAMOTO¹¹Section of Evolutionary Morphology, Primate Research Institute, Kyoto University, ²Sugiyama Women's University.**A-24 (1448-1500) テナガザルの発声メカニズムに関する機能形態学的研究**○西村 剛¹、徳田 功²、後藤 遼佑³、ヘルブスト クリスチャン⁴、中野 良彦³¹京都大学霊長類研究所、²立命館大学理工学部、³大阪大学大学院人間科学研究科、⁴ウィーン大学認知生物学部**A-25 (1500-1512) シロテテナガザルが行う複数のロコモーション様式における最長筋活動の類似性について**○後藤 遼佑¹、岡 健司^{1,2}、Neysa Grider-Potter^{1,3}、設楽 哲弥¹、中野 良彦¹¹大阪大学大学院人間科学研究科、²大阪河崎リハビリテーション大学リハビリテーション学部、³日本学術振興会**A-26 (1512-1524) チンパンジー大腿骨頸部緻密骨厚の詳細な検討**○松村 秋芳¹、鶴 智太²、岡田 守彦³¹神奈川大・工、²防衛医大、³筑波大**A-27 (1524-1536) 重心位置の前方シフトが二ホンザル四足歩行時の接地パターンに与える影響**○荻原 直道¹、平崎 鋭矢²¹東京大・院理、²京都大・霊長研**A-28 (1536-1548) 支持基体の種類が二ホンザルの股関節内旋運動に及ぼす影響**○設楽 哲弥¹、後藤 遼佑¹、GRIDER-POTTER N.^{2,3}、中野 良彦¹¹大阪大・院人間科学、²日本学術振興会**A-29 (1548-1600) 幾何学的形態測定学を用いた踵骨の3次元形態解析；性差・加齢変化**○野崎 修平^{1,2}、渡邊 耕太³、神谷 智昭^{4,5}、片寄 正樹³、荻原 直道¹¹東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻 人類進化生体力学研究室、²日本学術振興会特別研究員、³札幌医科大学保健医療学部 理学療法第二講座、⁴札幌医科大学医学部 整形外科科学講座、⁵帯広協会病院スポーツ医学センター**A-30 (1600-1612) 姿勢制御能評価プログラムによる回旋角度変化曲線および荷重動揺軌跡の分析**○竹内 京子^{1,2}、松村 秋芳³、菊原 伸郎⁴、樋口 毅史⁵、伊藤 正裕¹¹東京医大・人体構造、²健康教育学研究所、³神奈川大・工、⁴埼玉大・教育、⁵日体大・保健医療

A-31 (1624-1636) 化石・現生霊長類における骨迷路の形態変異とその意味

○森本 直記¹、國松 豊²、中務 真人¹、Marcia S. Ponce de León³、Christoph P. E. Zollikofer³、石田 英実⁴、佐々木 智彦⁵、諏訪 元⁶

¹京都大・院理、²龍谷大・経、³チューリッヒ大・人類、⁴京都大、⁵京都大・博、⁶東京大・総博

A-32 (1636-1648) 化石種の性差を求める統計的手法について

○佐々木 智彦¹、諏訪 元²

¹京大総博、²東大総研博

A-33 (1648-1700) ナチョラピテクスの系統的位置とその進化的意味

○中務 真人¹、國松 豊²、中野 良彦³、清水 大輔⁴、森本 直記¹、石田 英実⁵

¹京都大・院理、²龍谷大・経営、³大阪大・院人間科学、⁴中部学院大・看護リハ、⁵京都大・名誉教授

A-34 (1700-1712) 現生ヒトと類人猿における大白歯間変異から見る発生パターンの進化

○森田 航^{1,2}、森本 直記³、河野 礼子⁴、諏訪 元⁵

¹ヘルシンキ大・バイオテクノロジー研究所、²北海道大・歯、³京都大・理、⁴慶応大・文、⁵東京大・総合博

A-35 (1712-1724) 沖縄島の旧石器時代人骨、港川1号の核ゲノム分析 (第1報)

○水野 文月¹、林 美千子¹、石谷 孔司²、熊谷 真彦³、五條堀 淳⁴、王 瀝⁵、黒崎 久仁彦¹、近藤 修⁶、馬場 悠男⁷、植田 信太郎^{1,5,6}

¹東邦大、²産総研、³農研機構、⁴総研大、⁵杭州師範大、⁶東京大、⁷国立科学博物館

A-36 (1724-1736) Population affinities of Jomon-Ainu and Polynesians by nonmetric traits: application of a new method based on the dual liability model

○TAGAYA, A.¹

¹Nagano College of Nursing

A-37 (1736-1748) 縄文および弥生集団の人口構造

○五十嵐 由里子¹、清水 邦夫²、水高 将吾³

¹日本大・松戸歯、²統計数理研、³茨城大・理

A-38 (1748-1800) 進化シミュレーションで解く縄文・弥生時代の文化変容

○坂平 文博¹、大澤 僚也²、岸本 幹史²、大久保 孝晃³、山口 雄治⁴、津村 宏臣⁵

¹(株)構造計画研究所、²同志社大・院生命医科学、³同志社大・院文化情報、⁴岡山大・埋蔵文化財調査研究センター、⁵同志社大・文化情報

A-39 (1800-1812) 縄文時代多数合葬2事例における人骨タフォノミー研究

○皆川 真莉母¹、近藤 修¹

¹東大・院理

A-40 (0900-0912) 日本列島古代人におけるCPT1A欠損症関連遺伝子変異の分布○安達 登¹、神澤 秀明²、佐藤 丈寛³、角田 恒雄¹、篠田 謙一²¹山梨大学医学部法医学講座、²国立科学博物館人類研究部、³金沢大学医薬保健研究域医学系革新ゲノム情報学分野**A-41 (0912-0924) 上黒岩岩陰遺跡出土人骨の年代学的研究 (予察)**○遠部 慎^{1,2}、小林 謙一³、覚張 隆史⁴、大森 貴之⁵、尾寄 大真⁵、米田 穰⁵¹久万高原町教育委員会、²島根大学山陰研究センター、³中央大学、⁴金沢大学、⁵東京大学総合博物館**A-42 (0924-0936) 現代日本人ゲノム中の縄文人由来候補SNPの検出**○渡部 裕介¹、大橋 順¹¹東京大学大学院理学系研究科**A-43 (0936-0948) 北海道伊達市有珠モシリ遺跡の再発掘調査**○青野 友哉¹、永谷 幸人²、西本 豊弘²¹東北芸工大・歴、²噴火湾文化研**A-44 (0948-1000) 千葉県・西広および祇園原貝塚遺跡出土縄文人骨の集団ゲノム解析 (第一報)**○和久 大介¹、覚張 隆史²、Guido M. Valverde^{3,4}、長岡 朋人⁵、平田 和明⁵、豊田 敦⁶、米田 穰⁷、高橋 龍三郎⁸、太田 博樹^{1,4}¹東京大・院理、²金沢大・新学術、³サンアンドレス市立大・医、⁴北里大・医、⁵所属先、⁶遺伝研、⁷東京大・総研博、⁸早大・文学**A-45 (1000-1012) 西広貝塚・古作貝塚出土人骨の年代測定値からみた埋葬小群の形成過程**○山田 康弘¹、米田 穰²、平田 和明³、水嶋 崇一郎³¹歴博・考古、²東京大・総博、³聖マリアンナ医大・解剖**A-46 (1012-1024) 縄文人の口腔衛生指標にみられる早期から晩期の時期変化：特に齲蝕を中心として**○佐宗 亜衣子¹、近藤 修²¹新潟医療福祉大学リハビリテーション学部、²東京大学大学院理学系研究科**A-47 (1024-1036) 居家以岩陰遺跡 (縄文早期) 及び土井ヶ浜遺跡 (弥生中期) 出土人骨の核ゲノム解析 (予報)**○石谷 孔司¹、水野 文月²、熊谷 真彦³、五條堀 淳⁴、林 美千子²、松下 真実⁵、松下 孝幸⁵、谷口 康浩⁶、近藤 修⁷、黒崎 久仁彦²、王 瀝⁸、植田 信太郎^{2,7,8}¹産総研、²東邦大、³農研機構、⁴総研大、⁵人類学研究機構、⁶國學院大、⁷東京大、⁸杭州師範大

A-48 (1048-1100) **放射性炭素年代測定による吉胡貝塚出土人骨の帰属年代の解明**

○日下 宗一郎¹、米田 穰²、山田 康弘³

¹東海大・海洋、²東大・博、³国立歴史民俗博物館

A-49 (1100-1112) **居家以岩陰遺跡（縄文早期）及び土井ヶ浜遺跡（弥生中期）出土人骨のエピゲノム解析の試み**

○熊谷 真彦¹、水野 文月²、石谷 孔司³、五條堀 淳⁴、林 美千子²、松下 真実⁵、松下 孝幸⁵、谷口 康浩⁶、近藤 修⁷、黒崎 久仁彦²、王 瀝⁸、植田 信太郎^{2,7,8}

¹農研機構、²東邦大、³産総研、⁴総研大、⁵人類学研究機構、⁶國學院大、⁷東京大、⁸杭州師範大

A-50 (1112-1124) **古代琉球列島人のミトコンドリアDNA分析からみた地域差**

○神澤 秀明¹、角田 恒雄²、安達 登²、土肥 直美³、篠田 謙一¹

¹国立科学博物館・人類、²山梨大学・医学部、³文化財サービス

A-51 (1124-1136) **新学術領域研究ヤポネシアゲノムの現状報告**

○斎藤 成也¹

¹国立遺伝学研究所集団遺伝研究室

A-52 (1136-1148) **江戸時代から平成の現代にかけて日本人の四肢プロポーシオンはどのように変化したのか？**

○時田 諒¹

¹札幌大・院保健医療

A-53 (1148-1200) **「渡来系形質」の地域性とその社会的背景に関する試論—歯冠計測値を用いて—**

○舟橋 京子^{1,2}、岡崎 健治³

¹九州大学大学院比較社会文化研究院、²九州大学アジア埋蔵文化財研究センター、³鳥取大学医学部

A-54 (1200-1212) **ゲノム多型解析に基づく現代日本人の地域差**

○今西 規¹、小金淵 佳江²、三橋 里美³、西田 奈央⁴、斉藤 憲司⁵、太田 博樹⁶、田辺 秀之⁷

¹東海大・医、²琉球大・医、³横浜市大・医、⁴国立国際医療研究セ、⁵株) ジーンクエスト、⁶東京大・院理、⁷総研大

A-55 (1212-1224) **弥生時代水稻農耕集団の生業様式の特徴とその地域的多様性**

○米元 史織¹

¹九州大学総合研究博物館